

## ■平成 29 年度 広報・広聴特別委員会活動報告

### 1. 今年度の活動経過

本委員会は平成 27 年 5 月に設置され、開かれた議会の実現に必要な広報・広聴機能の調査・研究に積極的に取り組んできた。

今年度は下表のとおり、議会活動報告会に関する協議や、その他広報・広聴に関する協議を行った。

	開催月日	調 査 内 容
1	平成 29 年 06 月 21 日	*年間スケジュール及び活動内容に関する協議
2	7 月 18 日	*議会活動報告会に関する協議
3	8 月 18 日	*議会活動報告会に関する協議
4	9 月 13 日	*議会活動報告会に関する協議 *若年層との意見交換会に関する協議 *先進地調査に関する協議
5	9 月 27 日	*若年層との意見交換会に関する協議
6	10 月 6 日	*若年層との意見交換会に関する協議
7	10 月 16 日	*若年層との意見交換会に関する協議
8	11 月 28 日	*若年層との意見交換会に関する協議 *先進地調査に関する協議 *議会活動報告会に関する協議
9	12 月 13 日	*議会活動報告会に関する協議
10	平成 30 年 1 月 5 日	*若年層との意見交換会に関する協議
11	2 月 27 日	*今年度の活動報告の総括 *議会映像のインターネット録画配信に関する協議
12	3 月 19 日	*今年度の活動報告の総括 *議会映像のインターネット録画配信に関する協議
13	3 月 22 日	*今年度の総括

※その他、議会だよりに関する編集作業 8 回、計 21 回の委員会を開催

## 2. 先進地視察について

本特別委員会では、2月に福岡県大野城市と福岡県宗像市において、広報・広聴に関する議会の取り組み状況を調査した。

### ●福岡県大野城市

#### (1)議会活動報告会

##### ①概要

- ・平成24年度から実施し、本年度まで継続して実施している。
- ・議会基本条例に基づき、議会報告会実施要綱に必要な事項を定め、議会運営委員会が所管・運営している。
- ・市内すべての行政区を網羅できるようコミュニティセンター4会場にて実施している。
- ・市民との意見交換に重きを置き、その手法にワールドカフェ方式を導入している。
- ・開催後の報告書を議会ホームページにて公開している。

##### ②工夫している点

- ・ワールドカフェ方式の意見交換導入に併せ、会場レイアウトを教室方式から少人数制のグループ方式に変更したこと。
- ・所管事務調査のテーマや行政視察の内容にリンクする形で、各常任委員会から1つずつ意見交換会のテーマ選定を行っていること。
- ・開催の広報ツールとして、議会広報紙を有効活用し、開催前には臨時号を発行していること。

##### ③今後の検討課題

- ・参加者数の減少を課題と認識しており、今後も開催会場や開催時期、時間帯等について適宜見直しを加えながら対処していく予定である。

#### (2)議会広報紙

##### ①概要

- ・昭和60年5月に第1号を発刊し、平成30年2月現在で140号を発刊している。
- ・3常任委員会から選出された委員6名で構成される広報委員会が所管している。
- ・年間の発行回数を5回としており、うち4回は定例会の概要(A4×16頁、表紙：カラー刷り、その他の紙面：2色刷り)、1回は議会報告会の開催周知のための臨時号(A4×4頁、表紙：カラー刷り、その他の紙面：2色刷り)としている。

##### ②工夫している点

- ・表紙や背表紙の掲載写真は市民から投稿されたものの中から採用しており紙面中にも市民から寄せられた俳句や川柳を掲載するなど市民参加の紙面づくりを行っていること。
- ・一般質問の頁には質問者毎にQRコードを載せることで、録画配信する議会映像にアクセスしやすい環境づくりを行っていること。

### ③今後の課題

- ・紙面のカラー化を課題としており、予算の確保、カラー化する頁の選定などを中心に現在議論を重ねている。

## (3)その他の取り組み

- ・平成 29 年度より、初の試みとして、市民祭りの日に併せて大々的な議場見学会を実施。当日は、議場への案内や議会の説明など、議員が中心となって運営にあたり、200 名を超える市民の来場があった。

## ●福岡県宗像市

### (1)議会活動報告会

#### ①概要

- ・平成 21 年度から実施し、本年度まで継続して実施している。
- ・議会基本条例に基づき、議会報告会実施要領に必要な事項を定め、議会運営委員会が、所管・運営している。
- ・議員の任期である 4 年間で、市内の 12 コミュニティ地区すべてが網羅できるよう、市域を東部・西部・北部の 3 エリアに区分し、毎年各エリアから 1 コミュニティ地区ずつ選出した 3 会場にて実施している。
- ・市民との意見交換に重きを置いており、「市民と語ろう！議員座談会」という名称のもと、複数テーマについて小グループ制で座談会を行っている。

#### ②工夫している点

- ・小グループ制での意見交換をメインに行うようになったこと。
- ・市民との意見交換テーマを選定するうえで、所管事務調査など各常任委員会の取り組みに関連深いものを、テーマとして選定していること。
- ・アンケート集計結果や市民からの主要な意見等をもとに、報告書を作成し、公な場所で公開していること。

#### ③今後の課題

- ・いかに多くの人や幅広い世代に参加してもらえるかを課題としており、開催地区によって曜日や時間を変えるなど試行錯誤している。
- ・報告会を通じて市民から得た意見等をどのような形で、その後のアクションに繋げていくかを課題として認識している。

### (1)議会広報紙

#### ①概要

- ・議会報編集部会（議員 6 名）と事務局職員 2 名体制で編集を行っている。
- ・発行形態として、平成 16 年 5 月号よりタブロイド判を採用しており、発行回数は年 4 回（通常回：オールカラー 4 頁、5 月号：オールカラー 8 頁）としている。

#### ②工夫している点

- ・市の広報紙と同じタブロイド判を採用していること。議会の他にも社会福祉協議会など多くの市関連広報紙がタブロイド判を採用している。これにより、コスト

削減に効果が得られただけでなく、市の広報紙の中への綴じ込みが可能となり、区の配布担当者的大幅な作業負担減に繋がった。また、複数の広報紙が1セットで提供できることから、市民からは、読みやすさや情報の伝わりやすさといった面で好評を得ており、特徴的な広報紙の在り方であったと考える。

③今後の課題

- ・昨今の財政事情から、市の広報紙を含め、頁数の削減を検討している。その中で議会だよりはどうかあるべきかが課題となっている。

(3)その他の取り組み

- ・一般質問や議案質疑において使用する資料の投影を目的として、平成 29 年度より議場に実物投影機を導入している。

3. 重点調査事項について

(1)議会活動報告会

この取り組みは、平成 25 年度から実施しており、平成 29 年度は、10 月定例会後に 6 地区で開催している。

●開催場所・参加者数(人)

開催地区	日程	会場	参加者数
北方地区	平成 29 年 10 月 25 日	延岡市北方コミュニティセンター	32 人
北浦地区	平成 29 年 10 月 25 日	延岡市北浦公民館	15 人
北川地区	平成 29 年 10 月 25 日	ホテルの宿	16 人
南浦地区	平成 29 年 10 月 27 日	ビーチの森すみえ管理棟	11 人
島浦地区	平成 29 年 10 月 27 日	島野浦島開発総合センター	15 人
川中地区	平成 29 年 10 月 27 日	延岡市川中コミュニティセンター	9 人
合 計			98 人

●アンケート結果

報告会への参加回数は	初めて	2 回目	3 回以上	無記入
	55.3%	14.4%	30.3%	0.0%
内容は良かったか	はい	いいえ	-	無記入
	88.2%	3.9%	-	7.9%
時間は適当だったか	はい	長かった	短かった	無記入
	86.8%	3.9%	3.9%	5.3%
また来てみたいか	はい	いいえ	-	無記入
	86.9%	5.3%	-	7.9%
ケーブルテレビでの議会中継や FM ラジオ放送を視聴したことはあるか	ある	ない	-	無記入
	67.1%	31.6%	-	1.3%
広報紙「議会だより」を読んだことはあるか	ある	ない	-	無記入
	96.1%	1.3%	-	2.6%

	案内チラシ	地区回覧	市ホームページ	その他
開催をどのような方法で知りましたか	26.3%	36.8%	5.3%	22.4%
	無記入			
	9.2%			
報告会での意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初めて参加したが、次回も是非参加したいと思う。</li> <li>・今後とも延岡市のため、精一杯頑張ってもらいたい。議員の協力を密に願う。</li> <li>・延岡市の人口減少について早急に他市や他県に出ないような対策をしてほしい。</li> <li>・中心市街地以外の地域振興もしてほしい。</li> <li>・台風被害のテーマがあるとよかったと思う。</li> <li>・詳しい議会報告をいただき、議会活動の理解を深めさせていただいた。</li> <li>・初めて参加したが、全体的に人が少なく感じた。前もってもう少し早めの声掛けをした方がよいと思う。</li> <li>・報告会のPRをもっとして人を集めるべきだと思う。少しPRが足りないと感じた。</li> <li>・もっと多くの方が参加するよう区長としてPRしていきたい。</li> </ul>			

### ●今後の対応

参加者総数は、前年度に比べて減少しており、開催地区ベースで前回開催時と比較した場合においても減少傾向にある。

開催の案内については、開催地区の区長への案内文書配布や、組回覧等により周知しているが、PR不足との意見もあることから、より多くの方に周知し、参加してもらうための取り組みが必要と考えられる。

また、報告会の内容については、資料の見直しを行ったこともあり、昨年に比べ分かりやすいものとなり、アンケート結果では好評価が上昇したものの、参加者数自体は減少していることから、改めて市民が何を求めているかという視点を一層意識しながら見直しを行っていく必要があると考える。

さらに、この取り組みは、議会にとって貴重な広報・広聴の場であることから、今後は、市民参加型の開催方法を検討し、PR方法に加え、開催場所や時期なども必要に応じて見直しを行いながら取り組んでいきたい。

### (2)若年層との意見交換会

この取り組みは、若い世代の意見を聞き、まちづくりの参考とすること及び議会に親近感を持ってもらうことを目的として、平成 27 年度から新たに始めたものである。今年度も、延岡星雲高校の生徒、九州保健福祉大学の学生と意見交換を行い、若い世代の視点から、様々な意見が出され、活発な意見交換が行われた。

高校生との意見交換においては、初の試みとして、少人数編成のグループワーク形式での意見交換を導入し、話しやすい雰囲気の中、延岡市の魅力、若者の市外流出、賑わい創出のためのエンクロスの活用方法など4つのテーマについて忌憚のない意見を交わしたところである。

### ●若年層との意見交換のテーマ

- ① 延岡市のどういうところに魅力を感じているか。
- ② 若者の市外流出についてどのような理由が考えられるか。

- ③ 4月にオープン予定のエンクロスについてどんな施設だったら、どのように活用できたら賑わいが生まれると思うか。
- ④ 防災についてどのように考えているか。
- ⑤ 県外・市外から延岡に来てみて感じたこと、印象について。(※大学生のみ)

●開催場所・参加者数(人)

日程	会場	参加者数
平成30年1月30日	延岡星雲高校	194人
平成30年2月2日	九州保健福祉大学	28人
合 計		222人

●アンケート結果

(延岡星雲高校)

機会があればまた参加してみたいか	参加したい	どちらとも言えない	参加したくない	無記入
	70.1%	24.2%	5.2%	0.5%
議会の仕組み等についての説明は分かりやすかったか	分かりやすかった	どちらとも言えない	分かりにくかった	無記入
	69.0%	28.9%	2.1%	0.0%
議員との意見交換は楽しめたか	楽しめた	どちらとも言えない	楽しめなかった	無記入
	89.2%	9.8%	1.0%	0.0%
意見交換を通して、新たに延岡の魅力を発見したり、再確認することができたか	できた	どちらとも言えない	できなかった	無記入
	70.6%	26.8%	2.6%	0.0%
今後自分たちのまちをよくするために選挙に行ってみようと思うか	行ってみたい	どちらとも言えない	行きたくない	無記入
	79.9%	15.5%	3.6%	1.0%
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自然や食の魅力を改めて確認した。</li> <li>・ エンクロスのオープンが楽しみ。これを機に、延岡に活気を取り戻してほしい。</li> <li>・ 商店街の活性化をテーマに意見交換してみたい。</li> <li>・ 若者を呼び戻す方法などをテーマに意見交換してみたい。</li> <li>・ もっと買い物や遊べる場所がほしい。</li> <li>・ バスや電車の本数を増やしてほしい。</li> <li>・ 最近の延岡はイベントが多く盛り上がっていると思う。</li> <li>・ 空き家、空き店舗等を有効活用してほしい。</li> <li>・ 意見交換を通じて、これからの延岡の話が聞けてとてもよかった。</li> </ul>			

(九州保健福祉大学)

機会があればまた参加してみたいか	参加したい	どちらとも言えない	参加したくない	無記入
	39.3%	57.1%	0.0%	3.6%
議会の仕組み等についての説明は分かりやすかったか	分かりやすかった	どちらとも言えない	分かりにくかった	無記入
	67.9%	32.1%	0.0%	0.0%
議員との意見交換は楽しめたか	楽しめた	どちらとも言えない	楽しめなかった	無記入
	78.6%	21.4%	0.0%	0.0%

意見交換を通して、新たに延岡の魅力を発見したり、再確認することができたか	できた	どちらとも言えない	できなかった	無記入
	67.8%	28.6%	3.6%	0.0%
今後自分たちのまちをよくするために選挙に行ってみたいと思うか	行ってみたい	どちらとも言えない	行きたいと思わない	無記入
	60.7%	28.6%	10.7%	0.0%
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・延岡は市民活動が進んでおり、市民の意見がしっかり取り入れられていると思う。</li> <li>・議員との話で発見がたくさんあった。</li> <li>・これからの延岡に興味を持てた。</li> <li>・公共交通をテーマに意見交換を行いたい。</li> <li>・エンクロスの完成により若者が増えてくると思う。イベント情報等を流すと、更に利用者も増えると思う。</li> <li>・駅にレンタサイクルがあるとうれしい。</li> <li>・意外と防災対策に力を入れていることを知った。</li> <li>・延岡は自然が多く、食べ物がおいしい。</li> </ul>			

### ●今後の対応

延岡の将来を担う若者との極めて貴重な意見交換の場であることから、今後も継続実施していく予定であるとともに、この機会を通して、政治を身近に感じてもらうだけでなく、若者自身に延岡の魅力や強みを発見してもらうために、今後さらに、資料や意見交換テーマ、開催形式について検討していく必要があると考える。

### (3)議会だより

本委員会では平成 27 年 5 月に本特別委員会を設置した後、読まれる議会だよりを目指して、調査研究を重ねてきた。本年度、紙面づくりにおいて、大きな見直しは行わなかったものの、市民目線での分かりやすい表現を心掛けており、平成 30 年 2 月現在、第 75 号まで発刊したところである。

### ●今後の対応

議会だよりについては、これまでの本特別委員会での協議により、分かりやすい紙面となるよう適宜必要な見直しを行ってきたところである。

今後においても、引き続き、市民にとって必要な情報が分かりやすい表現で提供できるよう、紙面づくりに取り組んでいく必要がある。

### (4)議会放映の充実

現在、本会議の一般質問等に関しては、平成 13 年 6 月からケーブルテレビ、また平成 24 年 3 月から FM ラジオによる放送を行っているところであるが、いずれも生放送であることから、日中仕事をしている人などは視聴できない現状があり、幅広い対象者のための、さらなる視聴手段の確保のため、インターネットによる議会映像の録画配信について検討を行ってきた。

昨年度は、県内及び九州内の 26 市に対し議会インターネット中継に関する導入状況や配信方法、費用等についてアンケート調査を行い、本年度については、配信システムの仕様や必要となる経費等について、さらなる調査研究を行ってきたところである。

### ●今後の対応

議会映像のインターネット配信については、全国的に導入する自治体が増えてきている。多くの情報発信手段を備えることにより、市民が議会に触れる機会が多くなることから、引き続き、開かれた議会の実現に向け、具体的な検討を進めていきたい。

### 3. まとめ

議会の広報広聴において最も重要なことは、議会活動が伝わりづらいという課題を解消することであり、議会活動の内容及びその成果を市民に対して、いかにPRしていくかが重要であると考えます。

議会活動報告会や若年層との意見交換会、議会だよりについては、議会広報広聴の貴重な手段であることから、今後も研究の機会の確保や必要な見直しを行うことで充実を図りたい。

また、議会放映の充実に関しては、本会議一般質問等の映像を後日視聴可能とするため、議会映像のインターネットによる録画配信導入に向けた取り組みを進め、より早く正確に必要な情報を公開できるよう努めていきたい。